

特集 文化であいちが元気になる!

- 一愛知県高等学校総合文化祭ー アートフェスタのお知らせ
- 愛知県高等学校職業教育技術認定事業
- 専門高校生の活躍
- 愛知スーパーハイスクール研究指定推進事業
- 学校評議員制度
- 第58回全国高等学校PTA連合会大会愛知大会
- 「無事故・無違反ラリー2008」にチャレンジしよう
- 道路交通法が一部改正されました ●モラルの向上

タイトルの趣旨
「パレット」には、本広報紙を絵の具をのせるパレットにみたてて、教育情報を発信し、家庭・地域・学校が一体となって、大きなキャンパスに子どもの未来を描きたいという願いが込められています。



平成20年6月発行
発行/愛知県教育委員会

さらに進む本県の国際交流・国際理解教育



国際化・グローバル化が大きく進展する中で、本県では世界の国々との交流がますます活発になっています。

特に、平成17(2005)年に開催された愛知万博における「一市町村一国フレンドシップ事業」などを契機に市町村単位での交流の機会が生まれ、万博終了後も双方の交流が継続しています。

こうした中で、本県の小学校、中学校、高等学校において、

姉妹提携や学校間などによる外国の学校との交流が盛んに行われています。

また、平成19年度から国の事業として5年間の予定で実施されている「21世紀東アジア青少年大交流計画」により、中国をはじめアジア各国から多くの高校生が本県を訪れ、ホームステイや各種の行事により、相互理解を深めています。

本県の将来を担う子どもたちと外国の子どもたちとの交流の様子をいくつか紹介します。

愛知県立常滑高等学校

同校では、毎年留学生を受け入れ、同校からも海外留学をしています。また、オーストラリアのブライトン校とは隔年で約20名の生徒の受け入れと派遣を続けています。生徒たちは、7泊8日のホームステイをとおして心の交流の大切さを肌で感じ、将来の目標を明確にし、国際社会の一員としての自覚を高めています。

ブライトン校での
フェアウェル



愛知県立安城農林高校

この写真は、21世紀東アジア青少年大交流計画事業で中国の高校生が来校し、「園芸デザイン」の授業で生花を使ってコサージュを作ったときの写真です。コサージュと一緒に作りながら、英語で筆談を交えての自己紹介が始まりました。生徒たちにとって国際交流の魅力を強く感じる事ができた得難い体験でした。また、3月には同校から5名の生徒が中国側に招待され、交流を深めてきました。

中国高校生との交流
コサージュの製作



トリニティベイ・
ステートハイスクール
との交流



愛知県立一宮商業高等学校

海外修学旅行(オーストラリア)で学校訪問をしたトリニティ・ベイ・ステート・ハイスクールとの交流会での一幕です。歓迎式では、同校で50年以上続いている伝統行事・民謡大会で演じた「ソーラン節」を全員で披露しました。また、福笑いなど日本文化の紹介も大変好評で、文化や風習の違いを学ぶとともに、日本の文化や伝統を再認識することができました。

留学生との交流
手巻き寿司に挑戦



愛知県立豊橋聾学校

異文化や多様な価値観を理解し、広い視野から物事を考えるとともに、日本の文化についても考える機会とするために、毎年、近隣の高等学校の留学生を招いて交流を行い、親睦を図っています。平成19年度にはアメリカとインドの学生が訪れ、一緒に手巻き寿司を作ったり、互いの文化や言葉を学んだりしながら交流を深めることができました。